

「中国・信用リスク評価とPL対策」

アジアリスクセミナー開く

セフティマネジメント協会

NPOセフティマネジメント協会は東京都中央区の中小企業会館で9月19日、「中国を中心とした信用リスク評価と中国PL対策」と題してセミナーを開催。アジアの信用リスク評価と中国におけるPL対策のポイントが解説された。

を得て、リスクマネジメントの在り方などを提案し、身近なテーマをとらえたセミナーを開催している。本日は輸出企業が避けて通れないテーマを取り上げたので参考にした。

てほしい」とあいさつした。セミナーでは、コファースタービズジャパンの杉井淳ゼネラルマネージャーが「中国を中心としたアジアの信用リスク評

価」について講演した。グローバルな成長率が低いときに信用リスクの保険金支払いが増加する。これは10年弱のサイクルで繰り返されていると説明。中国では財務データの開示が進んでいるが、データの信ぴょう性に問題がある。また、経

理担当者はいかに支払いを遅らせるかが評価のポイントとなっているので注意が必要と指摘した。続いて、コファスターパン信用保険会社の芦田牧マネージャーが同社の「輸出取引信用保険」のメリットとして①全世界5500万社の企業データ活用②全世界を網羅する債権回収ネットワーク③債権回収費用負担なし④簡素化した契約手続きなどを説明した。

最後に金誠国際保険經紀有限公司日本事業部の大八木貴子氏(株)キャブテンより出向)が「中国進出企業におけるPL保険対策のポイント」と題して講演。

中国において製品質法は日本より早く1993年に施行されたが、事故処理の経験やノウハウが少ないのでPL保険料は日本より割高な状況にある。

中国で生産している商品について日本でPLを付保している場合は、中国の付保規制との関連で再確認が必要と指摘した。



出崎氏



杉井氏



芦田氏



大八木氏

02年2月内閣府の認証